国際交流基金助成事業報告書

薬学部　３年次生 入谷　純奈

1. はじめに

この度、私は国際交流基金の助成を受けて、2017 年２月 25 日～３月 26 日までマルタに語学留学をしたので報告します。生活の違い、文化の違いを知るためにホームステイをし、スピーキングとリスニングの向上のため、English communication school （ECS）という語学学校に通いました。

2. 語学学校

この学校は、全校生徒が 15 人～20 人で１クラス５人前後と、とても小規模でアットホーム

な学校でした。そのため授業中に発言しやすく、わからないことも思う存分聞くことができました。また、小規模なので自分のクラスはもちろん、他のクラスの人とも仲良くなることができました。休憩時間にはポーランド、ドイツ、スペイン、オーストリア、アゼルバイジャンなど色んな国の人とお話しができ、文化の違いが知れてとても楽しい学校生活を送ることができました。

3. ホームステイ

マルタはあまりホームステイをするのによくないと聞いており、とても心配していましたが、私のホームステイ先は部屋も広く、トイレやお風呂も部屋についており、すごく過ごしやすかったです。ホストマザーもとてもいい人で、私が理解できるまでゆっくり丁寧に、ジェスチャーも含めて説明してくれました。マルタのテレビは英語の番組が多く、ご

飯の時はマルタ語ではなく英語の番組を絶対につけてくれるなど、とても協力的でいい人でした。ホームステイ先には息子さんとその彼女さんがいて、ピザを私に作ってくれたり、ご飯の時に色んな話をしてくれたりしました。同じホームステイ先に日本人の女の子とオーストラリアの女の人がいて、休日は一緒にお出かけしました。

4. マルタの薬局事情

マルタでは薬局に一定の時間にお医者さんが来るため、薬局で大体の処方はでき、あまり病院は行かないみたいです。また、マルタは医療費がタダで、薬も高くないようです。日本と売っているものも制度も全然違っていたのでとても面白かったです。

5. 観光

平日は語学学校があるので、放課後は宿題をしたり、クラスメートとお話ししたりして過ごしていましたが、土日は休みなので世界遺産を見に行きました。特にアズールウィンドウは私が留学中に嵐で壊れてしまったので、行っておいて本当に良かったです。

6. 最後に

この留学を通して、日本では英語を話せなくても生きてはいけるけれど、社会で活躍するには英語はとても大事だということを改めて思い知らされました。そして、文化や生活習慣の違う外国の人とわかり合うには、文法が完璧でなくてもとりあえず話すことが一番だということを身をもって理解することができました。この１ヶ月で学んだことは一生ものです。この経験を活かして、将来に役立つ英語の勉強に励みたいと思います。国際交流基金の助成によりこのような活動ができたことにとても感謝しています。